

あいの助密書

読書から始まる

あいの助 真夏の月曜日



～愛・達・一の助

お陰様で第10号
発行所 猪木酸素
本社 猪木酸素
有馬店 サポートあいの
山善業所

地域の皆様の喜ぶしを「陰ながらつとまえる」をモットーに日々活動中の有限会社猪木酸素玉島店・サポートあいの助です。オリンピック感動しますね。私、個人的にはオリンピックギリシャ永年開催論者なのですが、やはり人が何かに打ち込んでいる姿を見ると心が震えますね。今月号は、そんな躍動感溢れるイベントのさ中、あえてインドアな話題を綴りたいと思います。あいの助福祉用具貸与事業所としてのスタッフは、定年退職や人事異動を経て、現在3名。アラフィフの私と、以前紹介しました双子の兄弟です。とにかく若手スタッフの確保が難しく漸く二人が加わっ

てくれることになり、ほっと胸をなでおろしているというのが本音の所です。喉から手が出るほど欲しかった若手スタッフですが、一応採用条件は設けました。①気持ちの良い挨拶をすること②毎日一緒に丁寧掃除をすること③素直でいること④毎週「日本講演新聞」を読んで、感想を話す会に参加することです。採用条件と言いましたが、実は私のライフワークでもあります。①②③については、簡単なようで、これがなかなか難しい。気持ちが入らなかつたり、手を抜いてしまつたり、物事に反発してしまつたり、無用に自分の感情に蓋をしてしまつたり・・・多分、これらが出来るよ

うになるに従い、もう少し人間としての深みが備わるのではないかと思っております。実は、④は①②③に到達するための手段として設けた条件です。以前にも述べましたが、人が成長するには、実際に色んな経験をすることの話を聴く、本を読むの3つしかないと言われています。そして、なかなか億劫で習慣化出来ないのが本を読むということではないかと思われま

す。日本講演新聞は、現在様々な分野で活躍されている方々が味わった挫折や挑戦の経緯を判りやすく要約してくれている素晴らしい教材です。当初宮崎で50部ほどの発行数で始まったこの日本講演新聞が、世界中にファンを獲得するまでのストーリー自体にもドラマがあるのですが、とにかく掲載されている記事は、感動する話が多く、涙をこらえきれないことも多々あります。そして学びの宝庫です。毎週月曜日の朝、アラフィフのおじさんと二人の青年とで自分の心に引掛つた記事を読んで心を一瞬懸命耕しております。そんな朝の様子を少し覗き見て下さい。

定光 千葉県の建築業者 大里総合管理の野老会長の講話・仕事中に社員が死亡事故をおこしてしまい再発防止に取り組む。「あらかじめ気付くことの重要性」を痛感し、「日ごろから気付ける訓練を」と思い、「一日一時間の掃除」を始めた。きれいの基準が変わり、整理整頓・ボランティア活動へ発展し地域交流へと繋がっている。

「問題に気付けたり、お客様の気持ちに気付ける感性を養う重要性を感じた。また、それを感じられる余裕やゆとりは必要だな」と思った」

田中(兄) 占い開運アドバイザー 崔 燎平さんの講話・師匠から喜怒哀楽から「怒」と「哀」を取り除いて「喜楽」 「喜びと楽しみにあふれた生活をしなさい」と教えられた。強運者の生き方はまさにそうです。「喜びや楽しみを持つ人たちには引力がある」 「日常の中で怒ったり哀しんだりすることは多いが意識して除いていこう

農園の近況～アボカド栽培記



学生の 生育に支障を来すかと心配しましたが、現在すくすくと元気に育っています。

もう一つの「あいの助一族の野望」く笑顔のアボカド農園の近況(報告)です。10号鉢に植え替え作業完了しました。結局、畑の土に

若干の米ぬかを加え、鹿沼土、バーク堆肥、ピートモスのブレンドで配合しました。汗だくになりながら、桜日和 磯島施設長と息子さんと、留

君と作業。お客様のご家族のMさんもご指導下さりなんとか植え替え完了です。本来は活動期である夏に植え替えを行うものではないらしいへ、



田中(弟) 山本孝弘さんの社説・東京オリンピックの只中にあるが、勝負には「勝ちつぶり」と同時に「負けつぶり」というものがある。むしろ見事な「負けつぶり」の中にこそ美しきや学びがある。 「勝つことだけが重要ではなく、勝負までの取り組みやその姿勢が大事であると感じた。その結果負けたとしてもそれは大きな問題ではなく、また、そこから学べば良い」

手前味噌ですが、私も含めてみんな良いこと言いますね。でも、なかなか行動が伴いません。涙

逸品紹介



ドライアルファシート

ドライアルファシート
防水タイプ

横シートタイプ
定価4,400円
ボックスタイプ
定価9,680円

吸水速乾生地「アクアエアー」で、とにかくさらさらの防水シートです。